

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号			
法人名	MCP株式会社		
事業所名	グループホームつどい「宝柳家」		
所在地	福島県郡山市東原一丁目250番地		
自己評価作成日		評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名			
所在地			
訪問調査日			

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

その人らしさを持って生活して頂ける様に、その方が得意とする事を探りだし、レクリエーションの一巻として支援している。畑で野菜作りをし収穫祭をしたり、地域の方と一緒に音楽祭など開いて交流しております。家族様との交流も大切に出来る様にケアプランの作成や利用者様支援にご家族様の協力を得られるようにしています。今後も利用者様、ご家族様、地域の方々、職員を巻き込んだケアを取り組んでまいります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--	--	--	--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
						○	
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
						○	
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
		○					
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「つどい10の約束」を職員の行動理論としています。	zi事業所の理念を掲示し共有しながら支援、実践をしていく。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として近所づきあいや地元の活動、地域住民との交流に積極的に取り組んでいる。	毎日の挨拶や年末年始の挨拶、育成会との交流入居者様と散歩時に挨拶等をして交流しております。	コロナかたで交流の機会が減るなど、大変な中工夫されていた。出来る交流は継続している。	地域の方との交流が以前の様に戻る事を期待します。出来る範囲で外出されさせていただき、近所の公園などに散歩からしてみても。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護相談をすることがあり、相談や他事業所へ問い合わせなど支援をしています。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている。	今年再開予定です。	コロナかたで出来ていない書面やオンライン等、様々なルーツを活用することも大切かと思う。	令和6年度は年間計画通り対面で行い、サービスの向上に活かして欲しい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市のサービス相談員を受け入れております。	介護サービス相談員に派遣事業を積極的に取り組んでいる。	各担当者と連絡、協力関係を再度構築して欲しい
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会など開催し積極的に取り組んでおります。	事例はない 勉強会などで同知しながら身体拘束をしないケアの実践をおこなっている。	研修開催し参加し職員同士の声掛け
7	福-1	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	言葉遣いが不適切な時は職員同士で注意し合える様に、環境を整備しております。	ケアの中で不適切な対応がないように話し合っているか、言葉使いが気になる場合がある。	職員同士の注意、声掛けが出来る様に振り返りの場を持つ。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員の理解は充分とは言えませんが、管理者、計画作成担当者との話し合いや利用者様の状況によって市や地域包括支援センター、社協の方に相談しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明書でしっかりと説明し契約を結んでおります。料金改善があった場合はすぐに文書にて説明をしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム玄関に相談や苦情受付、文書にて開示しております、ご意見箱も設置しております。また運営推進会議がある場合は報告しております。	運営推進会議で報告をもらっております。日々の関りの中で利用者様はの話を聞きながらサービスに反映できている。コロナなどで面会は出来なかった。	今後も運営推進会議等で反映していく 入居者様に面会をさせて欲しい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や管理についての職員の声に耳を傾け、活かしていくことを心がけ、職員の働く意欲の向上や質の確保を図っている。	職員と面談し意見を吸い上げるようにしています。悩み等があれば時間を作り意見を聞くようにしています。	職員の毎日のミーティングは行われていた。日頃から職員が話掛け	意見を話し合いサービスにつなげていく
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	地区会議や管理者会議を定期的にかけており職場からの情報を吸い上げて報告しております。給与改定や労働形態も柔軟に対応しております。		
13	福-2	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	正職、パート区別無しで研修に行っております。社内研修も実施しております。	研修を実施し知識の向上を図っている。社内研修を職員全員で行っている。	力量に合わせてケアのアドバイスやフォローをしていく。社内研修をこれからも継続して欲しい。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会に加入し多いに活用するようになっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に実態調査において聞き取りを行っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に実態調査において聞き取りを行っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネジャーや地域包括支援センター、相談員との連絡調整をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事は一緒に行い、できない所支援する体制で接しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月入居者様のご様子やつどい新聞を作成しご家族様に伝えております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナの為面会を制限しておりました。	生活状況が分かる様に新聞やお便りなどで関係が継続出来る様に取り組んでまいります。	制限のない面会が出来ればいいです。 ご家族様は短時間でも会いたい。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性や趣味を見極めその都度 声かけの工夫をしております。 散歩の時も歩ける方が車椅子を押してし協力しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	担当のケアマネジャー、相談員と連絡をとりあっております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、関係者で本人の視点に立って意見を出し合い、話し合っていく取組を心がけている。	サービス担当者会議、フロアミーティングで話っております。ご家族様の情報提供が多いに参考になります。	日常生活の中で希望や意見を把握し伝えられる様に取り組んでいる。面会など出来ていなかったので話し合っていないケースがある。	取り組む姿勢の継続 家族に書面だけでなく話し合いをして欲しい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様やキーパーソン以外にも情報を収集に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ間での情報を共有しその人なりの日常の過ごし方を話し合っている。毎日バイタル測定し状態を把握しております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月1回ミーティングを開いており3か月ごとのケアプランの見直しを各フロア全員で行っております。	ケアプランの見直しを実施しており課題等ついて話し合っているが家族との話し合いがなかったり、少ない。	話し合いを多くして意見やアイデアを反映した意見交換
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録、業務日報に記入し情報を共有しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様対応が困難な通院介助や個々の同席が必要と思われる通院介助は柔軟に対応しております。また福祉用具の購入やレンタルなどはご家族様と相談しながら進めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	後見人制度や日常生活自立支援の導入を検討するなどしております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、ご家族様の希望に沿って決めています。	健康管理に努めている。	これからも連絡を密にして欲しい。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者様の状態変化、気づきを伝え、排便コントロール、水分補給の管理、日常の健康管理をしております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	緊急対応マニュアルを作成しております。実際に訓練が不足しており今後必要になると思われる。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	受診結果や検査結果を報告し、今後の方針を話し合っております。その際ホームでできない事についても説明しております。	結果を報告し確認を行っている 運営推進会議を通じて報告がきちんとされて いました。	方針の共有と必要な研修。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	実践状況訓練が不足している為今後必要になってくると思います。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を行っているも実際に起きるとどの様にしていいのかわからなくなるのでその都度スタッフに助言するようしております。	運営推進会議を通じて報告がきちんとされて いました。	地域の方々と連携をし非常時協力体制を取れるようになる、訓練の時は近所に声掛けをする事も良い。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人、その時に合った言葉かけを心掛けております。	敬意を持ち生活の中で支援を行っている。	継続して欲しい。 残存機能をいかしたケア。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本様が混乱しない様に配慮しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日中の過ごし方は入居者様のペースに合わせて自由にご過ごしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪型や洋服などその人の希望を聞いております。髪を切りたくなった時は月1回訪問理容を利用しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている。	昼食は職員も同じ物を食べている。メニューを確認したり、味を確認しながら楽しく食事できる様に支援しております。	食べる事が一番の楽しみ、主食、味噌汁は調理しており、香りで食欲、安堵感がある。利用者様にとっての住まい場を意識されているのかなと感じている。	継続して欲しい。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量のチェックし、不足の無いように心がけております。又嚥下機能が困難な入居者様はお粥やペースト状にし食べやすくしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨き、口腔ケア介助及び声掛けをしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	その人のペースで時間を見てトイレ誘導、声掛けを行っております。	定期的なトイレ誘導などとするなど、トイレでの排泄が出来る様に支援している。	トイレ誘導することにより排泄の自立度を促していく。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や大きな声で歌を唄い体を動かしております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者様の体調をみて実施しております、拒否があるときは声掛けや、スタッフを交換し対応しております。	利用者様のペースで入浴支援を行っている。	リラックスして入浴を楽しめているようにしていく。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人のペースに合わせております、ご本人様の落ち着ける場所で休んでもらっております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報をカルテに挟んでスタッフがいつでも見られるようになっております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑仕事や唄、塗り絵などその人の得意な分野で活躍できるように支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナの為制限しております。現在は解除しております。	出来るところからの計画支援 コロナがで外出も間にならない中でも行事など工夫されていたと思います。 楽しみの機会を大切にされていると思います。	外出をできるだけ多くして欲しい、以前の様に買い物を楽しめる様にする。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いを預かっており、ご本人様の買い物に使っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の希望に応じて電話を掛けてご本人様とお話していただいております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	換気をこまめに行っております、フロアはソファアがあり団らんしやすくなっております。台所、お風呂場も家庭的になっております。	利用者様が集まるホールは採光に恵まれカーテン等で調整され、換気温度等も最適に保たれている。花壇の花は季節ごとの装飾がされている。	継続して欲しい。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファアや椅子を置いたり席順にも工夫しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている。(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている。	ご家族様の協力を得ながら勤めております。	生活がしやすい動線に配慮し清潔で衛生的な空間となっている。	ご家族様の意見を取り入れ進めて欲しい。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全てにてすりが設置しており転倒予防になっております、床もクッションフロアになっております。自分のお部屋には名前がかいており分かる様に工夫しトイレが分かる様に案内を出しております。		